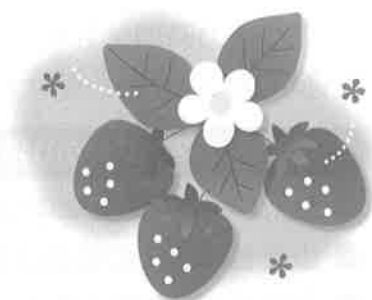


交通安全だより

平成28年4月

第183号

春の交通安全 市民運動実施!!



平成28年4月6日(水)～4月15日(金)

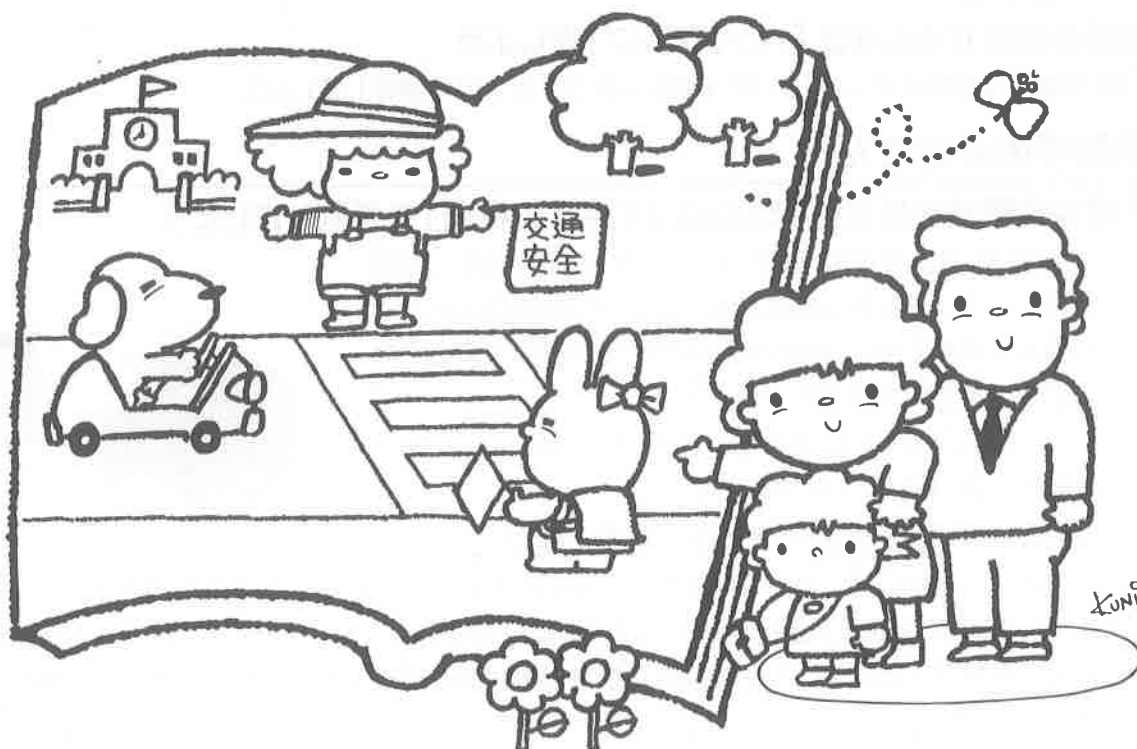
重点

1 運動の基本

- 子どもと高齢者を交通事故から守ろう

2 取組重点

- 自転車の安全利用を進めよう
- 後部座席を含めた全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
- 飲酒運転を根絶しよう



子供や高齢者を交通事故から守りましょう

春は、新入学児童(園児)が通学や通園を始める季節です。子供たちが新たな交通行動に参加することとなり、不慣れな環境下で交通事故が心配されます。

また、この時期は気候もよくなり、高齢者が朝夕の散歩など、外出する機会が増えることから交通事故の発生も心配されます。

子供や高齢者の事故の特徴

- 歩行中、自転車乗車中の事故が多く発生。
- 歩行者は道路の横断中(飛び出し)の事故、自転車は交差点での出合頭事故が多発。
- 自宅近くで事故に遭うケースが多い。

子供や高齢者を交通事故から守るには

■ 家族のみなさんへ

① 家族の交通安全意識を高めましょう

子供や高齢者の交通安全意識を高めるためには、自宅付近の危険箇所を具体的に上げて、家族で交通安全について話し合しましょう。

② 安全な行動を具体的に実地指導しましょう

「車に気をつけて」「あそこは危ないよ」と子供や高齢者に声をかけ、安全な行動をとるように促しても、子供は未経験から「どう気をつければよいのか」「なぜ危ないのか」また、高齢者は日頃の慣れから「何が」「なぜ」危ないのかが分かりません。子供には「どこで立ち止まるのか」「どこの何を見るのか」「どう行動するのか」、高齢者には「何を」「どうする」など、子供や高齢者の目線で具体的に分かりやすく指導しましょう。

③ 道路を横断するときは「ハンドアップ」をしよう

道路を横断する時はドライバーから目立つよう手を上げて横断しましょう。

■ 運転手のみなさんへ

① 子供や高齢者を見たら「とび出し」「突然の横断」を予測しましょう

子供や高齢者の交通事故で最も多いのが道路の横断と道路へのとび出しです。子供や高齢者を見たときは、突然の横断やとび出しを警戒するとともに、道路の反対側からの別の子供のとび出しや高齢者の横断にも注意しましょう。

また、子供や高齢者を見かけたら、スピードを落とすなどの思いやり運転で交通事故から守りましょう。



② 右左折時は歩道上を必ずチェックしましょう

子供や高齢者は、目の前の信号だけを見て、右左折車の確認をしないまま横断する姿がよく見られます。また、自転車が歩道を通行することができる標識が無くて子供や高齢者は歩道を自転車で通行することができるので、交差点を右左折する時は目の前の横断歩道上だけでなく横断歩道前後の歩道上を通行する歩行者や自転車にも注意しましょう。

平成27年 交通事故のあらまし

昨年、蒲郡市では445件の人身事故が発生し、交通事故死者2名を含む549名の方が死傷されました。また愛知県においては人身事故件数、負傷者数共に減少しましたが、死亡事故死者は213名で昨年(204名)を上回り、引き続き全国ワースト1位となりました。

表1 交通事故発生状況

区分 年	死亡		重傷		軽傷		人身合計		物損件数	総件数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
平成27年	2	2	12	12	431	535	445	549	2,247	2,692
平成26年	3	3	11	11	445	572	459	586	2,182	2,641
増 減	-1	-1	+1	+1	-14	-37	-14	-37	+65	+51

表2 年齢別交通事故発生状況

区分 年	子ども(~15歳)		若者(16~24歳)		一般(25~64歳)		高齢者(65歳~)	
	人数	死者	人数	死者	人数	死者	人数	死者
平成27年	38	0	93	0	306	0	112	2
平成26年	37	0	75	0	352	1	122	2
増 減	+1	±0	+18	±0	-46	-1	-10	±0

● 事故の特徴

- 交通事故総件数及び重傷事故は増加しましたが、死亡・軽傷事故ともに減少しました。
地区別では蒲郡・塩津・西浦・西部地区で減少、北部地区は大幅に増加、他の地区も増加しました。
- 年齢別では、一般、高齢者ともに減少しました。死亡事故の2名は、高齢者でした。
- 道路形状は交差点での事故が全体の約56%を占め、死亡事故の1件も交差点付近、他の1件は単路で発生しています。
道路別での事故は、国道が増加し市道が減少しました。死亡事故の2件は、国道と市道で発生しました。
- 事故全体の80%が前方不注意や安全不確認など安全運転義務違反が原因でした。また優先通行違反や一時停止違反など基本的なルールの無視が目立ちました。

交通安全スリーS運動

Stop (ストップ)

- ・赤信号、一旦停止場所は必ず止まる
- ・横断歩道や交差点では歩行者優先
- ・飲酒運転の根絶(ストップ)

Slow (スロー)

- ・見通しの悪い交差点では徐行する
- ・子どもや高齢者を見かけたら速度を落とす(スロー)

Smart (スマート)

- ・シートベルトの全席着用の徹底
- ・全ての人に対し思いやりを持った、“スマート”運転をする

高齢者のみなさん

こんなヒヤリはないですか!

- 交通事故全体の2割が高齢者(65歳以上)ドライバーの事故!
- 事故の5割以上が無事故・無違反の優良運転者による事故です!



ああっ 交差点を通るときに、
他の車両を見落とした!

◆安全運転のポイント…

交差点では、減速し、必ず左右の安全確認を行い、周りの状況にも配慮する。安全をしっかり見る。



ああっ 右折の時、
遠くに見えた対向車とぶつかりそうになった!

◆安全運転のポイント…

右折するときは、対向車が通りすぎるまで待つ!
特に二輪車は、遠くに見えても速いことを理解する。



おおっ ぼんやり運転して、
道路からはみ出しそうになった!

◆安全運転のポイント…

変化を感じたら、車を止めて、意識的に目首等を動かして注意力の回復を。疲れを感じたら休憩するなど、絶対に無理をしない。



おおっ 渋滞中、前車が急に停止し、
追突しそうになった!

◆安全運転のポイント…

先々の交通状況に目配りをする。意識的に周りの状況、特に前車の減速、停止を予測し先を読む運転に心掛ける。